

令和元年度決算に係る

定期監査
資料
決算審査

令和2年8月

交流人口拡大本部 観光交流局 交流推進課

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1 頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
	(3) 決算審査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1 頁
3	職員の定員、現員調べ	2 頁
4	役付職員の調べ	2 頁
5	主な事業に関する調べ	3 頁
6	決算資料（総括表）	6 頁
7	事業別実施状況調べ	8 頁
8	予備費の充用調べ	11 頁
9	繰越関係調べ	11 頁
	(1) 継続費逐次繰越調べ	
	(2) 繰越明許費調べ	
	(3) 事故繰越調べ	
10	収入証紙取扱額調べ	11 頁
11	現金の取扱状況	11 頁
12	財産に関する調べ	12 頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の保有状況	
	(3) 基金	
	(4) 債権	
13	財産の貸付及び使用許可調べ	14 頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品（1品の取得価格が100万円以上のもの及び寄附受納時の評価額が100万円以上のもの）	
14	借受不動産明細調べ	14 頁
15	職員駐車場の管理状況調べ	14 頁
	(1) 管理状況	
	(2) 減免の考え方	
	(3) 使用料の見直し	
16	寄附物件の受納状況調べ	14 頁
17	備品の処分状況調べ	14 頁
18	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	14 頁
	(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	
	(2) 物品の照合	
19	貸付金等状況調べ	14 頁
	(1) 総括表	
	(2) 償還状況	
○	意見、要望等	14 頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項

指 摘 事 項	措 置 状 況 等
<p>平成30年度鳥取県ブラジル交流促進事業委託契約について、遑って契約していた。</p> <p>・ 概 要</p> <p>研修員の宿泊先アパートの契約を前年度から継続しているため、平成30年4月1日付けで契約する必要があった。</p> <p>このため、同年3月30日を期限に見積書提出依頼文を送ったが、仕様書の変更が必要になることが判明した。</p> <p>仕様書変更について相手方との協議に時間を要することとなり、見積書の受理が遅れ、支出負担行為の事務手続が遅延し、契約日が遑りとなった。</p> <p>・ 相 手 方 : (公財) A</p> <p>・ 見積依頼日 : H30. 3. 20</p> <p>・ 提 出 期 限 : H30. 3. 30</p> <p>・ 見積書受理日 : H30. 4. 2</p> <p>・ 起 案 日 : H30. 4. 4</p> <p>・ 決 裁 日 : H30. 4. 4</p> <p>・ 契 約 日 : H30. 4. 1</p> <p>・ 契 約 期 間 : H30. 4. 1 ~ H31. 3. 31 ・ 遑り日数 : 3日</p> <p>・ 契 約 金 額 : 5,353,200円</p> <p>・ 発生の原因 : 担当者及び上司の進行管理不足</p> <p>・ 指摘の考え方 : 支出負担行為が適期に行われていない</p>	<p>1 原因</p> <p>年度開始目前に受入れ人数が変更となり委託業務内容を変更する必要が生じたが、これに対応するための進行管理が行えなかったため。</p> <p>2 処理方針</p> <p>委託契約に係る業務内容について必要な情報共有を行うとともに、適正に事務処理が行える職員体制・事務配分を行う。</p> <p>また、以下のとおり再発防止策を講じた。</p> <p>3 再発防止策</p> <p>令和元年7月2日に今回の指摘内容を所属内で情報共有するとともに、令和元年7月29日に開催された会計事務処理の講座を所属職員が受講した。</p>

(2) 監査意見

該当無し

(3) 決算審査意見

該当無し

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況

該当無し

3 職員の定員、現員調べ

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		合計		備考
	2.4.1 現在	31.4.1 現在	2.4.1 現在	31.4.1 現在	2.4.1 現在	31.4.1 現在	2.4.1 現在	31.4.1 現在	
定員	14	15	0	0	0	0	14	15	
現員	(2) 15	(2) 15	(2) 0	(2) 0	(0) 0	(0) 0	(4) 15	(4) 15	鳥取県国際交流財団派遣2名(定数外) ジャマイカ・ウェストモアランド県派遣1名(定数外) 第二アリアンサ鳥取村日本語学校派遣1名(定数外)
過不足(△)	1	0	0	0	0	0	1	0	
臨時職員	0	0	0	0	0	0	0	0	
非常勤職員	11	9	0	0	0	0	11	9	国際交流員10名 会計年度任用職員1名

4 役付職員の調べ

(令和2年8月1日現在)

職名	氏名	在職期間	備考
課長	米山 真寿美	年 月 0 4	
参事	中尾 弘	0 4	鳥取県国際交流財団派遣
課長補佐	田中 智	3 4	
課長補佐	森田 雅典	1 10	
課長補佐	荒砂 茂徳	1 5	鳥取県国際交流財団派遣

5 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算(見込)額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
江原道友好交流25周年記念事業	4,164	0	3,256	908
鳥取元気プロジェクト	—			
元気づくり総合戦略	—			
<p>(概要)</p> <p>1 目的及び事業の実施状況</p> <p>(1) 目的</p> <p>鳥取県と韓国江原道との友好提携25周年(平成6年11月締結)を契機として、両県道知事及び県・道民が参加する記念事業を実施し、両県道の一層の友好促進及び県民の国際理解の促進を図る。</p> <p>(2) 事業の実施状況</p> <p>○平井知事が交流関係団体代表とともに9月に江原道を訪問するとともに、崔文洵江原道知事を始めとする交流団が11月に来県し、友好提携25周年記念行事として両知事による会談を行い、本県と江原道との友好交流関係を今後も維持・発展させていくことで合意した。</p> <p>【江原道開催】</p> <p>ア 期日・場所 令和元年9月3日(火) 江原道庁(江原道春川市)</p> <p>イ 参加者 江原道 崔文洵(フェ・ムン)知事、鄭丞弼(チョン・スンピル)日本欧米州通商課長ほか 鳥取県 平井知事、矢部若桜町長、寺谷智頭町長、藤井鳥取県日韓親善協会連合会会長、薛在日本大韓国民国民団鳥取県地方本部常任顧問ほか</p> <p>【鳥取県開催】</p> <p>ア 期日・場所 令和元年11月3日(日) 鳥取県庁</p> <p>イ 参加者 江原道 崔文洵知事、安權鏞(アン・グォン)グローバル投資通商局長、梁珉錫(ヤム・ミンカ)体育会事務処長、金青龍(キム・ジョン)障がい者体育会事務処長ほか 鳥取県 平井知事、竹口大山町長、山口琴浦町副町長、中永鳥取県体育協会会長、黄在日本大韓国民国民団鳥取県地方本部団長、鳥取県各地区日韓親善協会会長ほか</p> <p>○次世代の日韓交流を担う人材育成を目的として、両県道大学生の相互派遣を行い、グループワークなどを通じた交流事業を実施した。(江原道派遣8月25日～30日、鳥取県受入10月29日～11月4日) この成果発表として「日韓青少年シンポジウム」を開催し、交流事業に参加した両県道大学生による発表、パネルディスカッション等を行った。(11月3日、鳥取県立博物館)</p> <p>○「日韓交流おまつり inソウル」(9月1日、ソウル特別市内)において、交流や観光・物産をPRするとともに、両地域の名産品を使用したコラボ料理をふるまった。</p> <p>2 令和元年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 特になし</p> <p>3 成果及び効果</p> <p>日韓関係が難しい状況下で、両知事の相互訪問による会談が実現し、今後の交流継続と発展を確認し合うことができた。また、日韓両国のメディアにも中立的ないし好意的に取り上げられ、両地域が築いてきた友好交流の絆を対外的にPRする機会となった。</p> <p>大学生からは、両地域の課題や今後の日韓関係を議論し合うなど充実した交流を行ったことで、直接会って交流することの重要性に気付いたほか、かけがえのない友情を育むことができたとの報告が得られ、将来の交流を担う青少年の国際理解の涵養に寄与した。</p> <p>4 課題</p> <p>日本と韓国の間には政治的な課題もあるが、江原道との裾野の広い交流を基盤としながら日韓交流を促進し、引き続き将来に向けて交流を高めていく必要がある。</p>				

(単位：千円)

事業名	決算(見込)額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
吉林省友好交流25周年記念事業	362	0	0	362
鳥取元気プロジェクト	—			
元気づくり総合戦略	—			
(概要)				
1 目的及び事業の実施状況				
(1) 目的				
鳥取県と吉林省との友好交流25周年を契機として、吉林省との交流の柱である「人的交流」と「経済交流」の成果を振り返るとともに、両県省の関係を一層発展させる。				
(2) 事業の実施状況				
○平成6年9月に友好交流に関する覚書を締結してから今年で25周年を迎えるのを記念し、高橋統轄監が県内の交流関係団体の関係者とともに吉林省を訪問し、張志軍副省長との会談などを行った。				
＜吉林省地方政府との会見、記念式典＞				
ア 期日・場所 令和元年11月11日(月) 長春シャングリホテル(吉林省長春市)				
イ 参加者 鳥取県：行政団(高橋統轄監ほか)、経済団(県内企業ほか)、 民間団・芸能団(中野鳥取県日中友好協会特別理事、因幡の傘踊り保存会ほか) 吉林省：張志軍(ジャン・ジージュン)副省長、蔣延輝(ジャン・インフイ)外事弁公室主任ほか				
＜表敬訪問等＞				
・高橋統轄監をトップとする行政団が、毎年1名県職員を受け入れている吉林省東北師範大学及び県費留学生相互派遣事業により学生を受け入れている吉林大学を表敬訪問した。				
・鳥取県日中友好協会が、鳥取市と友好提携している延辺朝鮮族自治州及び吉林省の対外友好協会と今後の民間交流の活発化に向けて協議したほか、吉林省芸能団を訪問し、因幡の傘踊り保存会と吉林省芸能団が芸能披露を行い、交流の深化を図った。				
・鳥取県内企業と吉林省内企業との商談を実施し、今後のビジネスの可能性を探った。				
○本県と吉林省の交流の歴史を振り返るパネル展を鳥取市の中電展示ホールにて開催した。				
＜鳥取県・吉林省交流のあゆみパネル展＞				
ア 期間 12月18日(水)～22日(日)				
イ 場所 中電展示ホール				
2 令和元年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点				
行政の交流だけではなく、県内民間団体の交流を推進するため、鳥取県日中友好協会に呼びかけて、吉林省対外友好協会との交流を実施し、今後の民間交流の活発化に向けて協議を行った。				
3 成果及び効果				
県内の交流関係団体の関係者とともに吉林省と会談を行い、地域間の交流が重要であることを再確認し、本県と吉林省との友好交流関係を今後も維持・発展させていくことで合意した。				
4 課題				
現在、吉林省との交流は、職員及び留学生の相互派遣の人的交流並びに経済交流を主に行っているが、両県省の交流を次世代に繋げていくため、青少年交流にも取り組んでいく必要がある。				

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
外国人総合相談センター（仮称）運営事業	17,284	8,641	0	8,643
鳥取元気プロジェクト	—			
元気づくり総合戦略	—			
<p>(概要)</p> <p>1 目的及び事業の実施状況</p> <p>(1) 目的</p> <p>平成30年12月の出入国管理法改正により新たな在留資格「特定技能」が創設され、本県でも在住外国人の増加が見込まれることから、(公財)鳥取県国際交流財団(以下、「財団」という。)に外国人相談窓口業務を委託し、県内在住外国人の総合的な生活支援を実施することにより、外国人が安心して訪問、生活できる多文化共生社会をさらに推進する。</p> <p>(2) 事業の実施状況</p> <p><外国人相談窓口の運営></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国交付金を活用して、平成31年4月1日から財団に外国人相談業務を委託し、ベトナム語対応職員(国際交流コーディネーター)の増員(中部1名→東部1名、中・西部兼務1名)や多言語対応タブレット・テレビ会議システムの導入等により相談体制を拡充した。 ※併せて4月1日からの本所への総括マネージャー配置(県職員派遣)、中部・西部へのマネージャー配置(中部地域振興局副局長、消費生活センター所長がそれぞれ兼務)により人員体制の拡充を図った。 ・在住外国人の総合相談窓口として、来訪や電話等による雇用・生活に係る様々な相談に対応するほか、関係する相談機関との連携による各種相談への対応や必要な機関への紹介等を行った。 <p>【相談実績】181件(H31.4月～R2.3月) 【参考】H30年度：135件</p> <p>【主な相談】在留手続、職場での労働相談、外国人雇用相談、医療、出産・子育て、教育、消費生活相談等</p> <p>2 令和元年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県職員の派遣、兼務による相談体制の拡充と財団との連携強化を図った。 <p>3 成果及び効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従来から財団では在住外国人からの相談を受けていたが、相談体制の拡充を県の広報媒体(県政だより等)でPRすることにより前年度に比べて相談件数が増加するなど、周知が進んだ。 ・在住外国人の雇用、生活に係る様々な相談のワンストップ窓口を設置することにより、在住外国人が働きやすく、暮らしやすい環境整備が進んだ。 <p>4 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内でも在留資格「特定技能」を含め在住外国人が徐々に増えており、多国籍化も進んでいる。県の関係課等と連携しながら実態や課題を把握し、財団や市町村など関係機関と情報共有しながら必要な対応を検討していく必要がある。 				

6 決算資料

一般会計(歳入)

(単位:円)

区分	科目	予算額			現額			調定額 A	収入済額 B	不納欠損額 C	収入未済額 A-B-C	備考
		当初予算額	補正予算額	計	継続費及び繰越事業費 繰越財源充当額	計						
歳	総務手数料	20,000,000	0	20,000,000	0	20,000,000	22,149,500	22,149,500	0	0		
	総務費 国庫補助金	10,067,000	0	(10,000,000)	10,000,000	20,067,000	(7,983,934)	(7,983,934)	0	0		
入	鳥取元気づくり 推進基金繰入金	12,809,000	△ 7,359,000	5,450,000	0	5,450,000	3,971,000	3,971,000	0	0		
	雑入	6,171,000	△ 2,508,000	3,663,000		3,663,000	3,493,864	3,493,864	0	0		
	合計	49,047,000	△ 9,867,000	49,180,000	10,000,000	59,180,000	46,611,619	46,611,619	0	0		

一般会計（歳出）

（単位：円）

区分	科目	予算				現額		決算額の内訳		年度額	差引増減額	備考
		当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	及び 予支流用 繰越額	及び 備出増減 費	計	決算額	本庁 出納機関			
	企画総務費	421,599,000	△ 144,282,000	10,000,000	500,000	287,817,000	(10,000,000)	(7,983,934)	264,356,809	0	(2,016,066)	
	合計	421,599,000	△ 144,282,000	10,000,000	500,000	287,817,000	(10,000,000)	(7,983,934)	264,356,809	0	(2,016,066)	

7 事業別実施状況調べ

(単位：円)

事業名	当初予算額 A	補正予算額 B	支出済額 C	翌年度 繰越額 D	差引残額 E=A+B-C-D	執行率 F=C/A
事業の計画と実績・成果・不用額・執行率						
(企画総務費)						
(主) 江原道友好交流 25周年記念事業	10,800,000	△ 6,141,000	4,163,802	0	495,198	39%
	「5 主な事業に関する調べ」に記載 【執行率5割以下の理由】 予算上は各種行事の実施に備えていたが、調整の結果、首長会談を主とする行事内容としたため。					
(主) 吉林省友好交流 25周年記念事業	1,214,000	△ 852,000	361,110	0	890	30%
	「5 主な事業に関する調べ」に記載 【執行率5割以下の理由】 予算上想定していたよりも芸能団の規模が縮小したため。					
第25回環日本海拠点 都市会議開催支援事業	3,751,000	0	2,461,000	0	1,290,000	66%
	米子市、鳥取市、境港市及び友好関係にある中韓露の都市による、地域間交流の活性化に向けた会議が米子市で開催され、開催経費を助成した。(4年に1度、県内で開催) 【不用額理由】 補助交付額が見込みを下回ったため。					
第24回北東アジア地 域国際交流・協力地 方政府サミット参加事業	1,250,000	0	1,250,000	0	0	100%
	本県、友好交流先である韓国江原道・中国吉林省・ロシア沿海地方及びモンゴル中央県の代表が一堂に会し、地域の共同発展に向け話し合った。(モンゴル・ウランバートル市開催)					
多地域連携スポーツ交 流事業	2,552,000	(453,643) 453,643	3,005,643	0	0	118%
	本県・江原道・ロシア沿海地方の3地域によるスポーツ交流事業を鳥取県内で開催し、各地域の中学生がバドミントン、卓球の2競技を通じて交流を深めた。 (交流ネットワーク活用事業から453,643円流用)					
ロシア極東地域交流推 進事業	1,464,000	△ 998,000	466,000	0	0	32%
	沿海地方及びハバロフスク地方との交流を推進するため、青少年交流事業、鳥取県PR事業及び県民に対するロシア紹介事業を実施した。 【執行率5割以下の理由】 柔道交流団(計12名)派遣事業が日露青年交流センターの日露青年交流事業に採択され、同センター負担となり、執行する必要がなくなったため。					
韓国交流推進事業	5,461,000	0	5,292,892	0	168,108	97%
	江原道を中心に、韓国との相互理解、交流促進を図るため、「江凌国際青少年芸術祝典」への公演団派遣や、「話してみよう韓国語」、日韓友好資料館運営支援、江原道との職員相互派遣事業などを実施した。					
中国交流推進事業	3,020,000	0	2,887,727	0	132,273	96%
	吉林省との交流を推進するため、吉林省内の大学生を鳥取県に受け入れ、日本語の学習、文化体験、県内学生との交流等を行った。また、河北省との交流を推進するため、県内高校生を河北省に派遣し、環境学習、河北省内高校生との交流等を行った。					

(単位：円)

事業名	当初予算額 A	補正予算額 B	支出済額 C	翌年度 繰越額 D	差引残額 E=A+B-C-D	執行率 F=C/A
モンゴル中央県交流推進事業	3,757,000	△ 300,000	3,044,780	0	412,220	81%
	モンゴル中央県との協力関係を発展させるため、医療専門家の派遣、農業技術研修員の受入、青少年団の派遣、中央県出身の県内大学留学生への奨学金支給の事業を実施した。					
台湾交流推進事業	1,292,000	(3,740,945) 8,412,945	9,684,945	0	20,000	750%
	台中市をはじめとする台湾との交流を推進するため、サマースクール団の派遣、交流協議団の派遣、経済団の受入を行った。また、訪日外国人観光客上位の台湾への県内のインバウンド能力向上及び情報発信の促進を目的として、台湾の大学生を対象とした海外大学生インターンシップ受入を行った。 (自治体職員協力交流事業から3,740,945円流用)					
米国バーモント州交流推進事業	315,000	0	182,000	0	133,000	58%
	姉妹提携を行う米国バーモント州との幅広い分野での交流を促進するため、青少年交流に加え姉妹校提携に係る交流協議団を派遣した。 【不用額理由】 派遣教師の渡航費が当初予算要求時の見積りより低額に抑えられたことと、受入校から移動車両の無償提供を受けて現地移動費が不用となったため。					
ジャマイカ・ウェストモアランド県交流推進事業	12,809,000	△ 7,359,000	3,971,003	0	1,478,997	31%
	姉妹提携を行ったウエストモアランド県との相互理解・交流を進めるため、青少年交流(受入)やマラソン交流(選手派遣)を行った。 【執行率5割以下の理由】 ジャマイカ国内情勢の悪化による青少年交流(派遣)の中止や、鳥取マラソンの中止によるマラソン交流(選手受入)中止のほか、ウエストモアランド県側で派遣者調整ができず技術交流受入事業が中止となったため。					
ブラジル交流推進事業	7,403,000	△ 2,000,000	3,705,350	0	1,697,650	50%
	ブラジル鳥取県人会との交流の継続・発展を進めるため、中堅リーダー(福祉分野・調理)の受入や日本語指導員の派遣を実施した。 【不用額理由】 技術研修員の来県が中止となったため。					
自治体職員協力交流事業	7,900,000	(△3,740,945) △ 3,740,945	3,878,861	0	280,194	49%
	友好提携先との国際協力推進のため、(一財)自治体国際化協会の「自治体職員協力交流事業」を活用して中国吉林省から1名の研修員を受け入れ、行政機関で研修を実施した。 (台湾交流推進事業へ3,740,945円流用) 【執行率5割以下の理由】 ウエストモアランド県からの自治体職員受入(1名)が中止になったため。					
国際交流員活動費	68,092,000	(120,045) △ 1,679,955	66,050,489	0	361,556	97%
	本県の国際交流を進めるとともに、県民の国際理解の促進を図るため、国際交流員をJETプログラムにより3名、単県で12名配置し、県が行う国際交流事業や国際理解講座等への派遣を実施した。 (交流ネットワーク活用事業から120,045円流用)					

(単位:円)

事業名	当初予算額 A	補正予算額 B	支出済額 C	翌年度 繰越額 D	差引残額 E=A+B-C-D	執行率 F=C/A
鳥取県国際交流財団助成事業	52,743,000	△ 951,000	49,692,940	0	2,099,060	94%
	地域における異文化理解と多文化共生を進めるため、(公財)鳥取県国際交流財団が行う在住外国人支援、異文化理解講座等の開催、国際協力支援等の事業に対して助成した。					
交流ネットワーク活用事業	51,157,000	(△ 573,688) △ 573,688	49,410,428	0	1,172,884	97%
	世界とっとりファンクラブ会員への情報提供や海外や県外の県人会との連携強化、自治体国際化協会による海外共同事務所運営の費用負担などで、効果的な鳥取県の情報発信や交流促進を図った。 (多地域連携スポーツ交流事業へ453,643円流用) (国際交流員活動費へ120,045円流用)					
国内交流推進事業	1,482,000	0	649,849	0	832,151	44%
	国内交流の推進を図るため、国内交流補助金で、市町村等が取り組む県外の鳥取県とゆかりのある地域との交流事業を支援した。(2団体が活用) 【不用額及び執行率5割以下の理由】 想定どおり2団体からの補助金申請があったが、2団体とも交付額が見込みを下回ったため。					
パスポート発給事務費	31,301,000	0	31,299,439	0	1,561	100%
	旅券法に基づき、一般旅券(パスポート)の申請受理、作成及び交付を適正に行った。					
外国人総合相談センター(仮称)運営事業	20,000,000	0	17,283,801	0	2,716,199	86%
	「5 主な事業に関する調べ」に記載					
外国人受入環境整備事業	0	5,283,000	3,653,199	0	1,629,801	-
	多文化共生フォーラムの開催、外国人材受入に係る調査事業、外国人患者への対応強化等を行った。 【不用額理由】 外国人雇用に係る相談体制強化等の拡充事業(6月補正予算で当課計上)について、相談実績が見込みより少なかったこと等により、雇用政策課計上の当初予算(外国人材活躍支援事業)の範囲内で執行したため。					
外国人総合相談センター(仮称)開設事業(明許繰越)	10,000,000	0	7,983,934	0	2,016,066	80%
	外国人相談窓口を県内3箇所に開設することに伴い体制整備を行った。					
職員人件費	133,836,000	△ 133,836,000	0	0	0	0%
	交流推進課職員人件費(当課執行なし)					
寄附金(予備費充当)	500,000	0	500,000	0	0	100%
目 計	(10,000,000) 432,099,000	△ 144,282,000	(7,983,934) 270,879,192	0	(2,016,066) 16,937,808	63%
合 計	(10,000,000) 432,099,000	△ 144,282,000	(7,983,934) 270,879,192	0	(2,016,066) 16,937,808	63%

8 予備費の充用調べ

(単位：円)

科目	予算超過の支出に充用したもの			
	充当額	内訳		充当した理由
		執行額	執行残額	
企画総務費 節 寄付金				
江原道山火事見舞金	500,000	500,000	0	韓国江原道で平成31年4月4日に発生した山火事による被害は、過去発生した山火事と比較し、被害地域も広域で多くの人が罹災し財産被害も多いことから、江原道に対する見舞金として予備費を充当したものの
合 計	500,000	500,000	0	

9 繰越関係調べ

- (1) 継続費通次繰越調べ 該当なし
- (2) 繰越明許費調べ 該当なし
- (3) 事故繰越調べ 該当なし

10 収入証紙取扱額調べ

有 無

11 現金の取扱状況

- ア 現金取扱状況 該当なし
- イ つり銭の状況 該当なし

12 財産に関する調べ

(1) 公有財産

- ア 土地 該当なし
- イ 建物 該当なし
- ウ 山林 該当なし
- エ 不動産売却等 該当なし
- オ 財産の交換 該当なし
- カ 動産（船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機） 該当なし
- キ 物権 該当なし
- ク 無体財産権（特許権、著作権、商標権、実用新案権等） 該当なし
- ケ 有価証券 該当なし

コ 出資による権利

(令和2年3月31日現在)

区分	前年度末 (数量、金額)	本年度中		本年度末 (数量、金額)	法人名	備考
		増	減			
出資金	500,320,000 円	0 円	0 円	500,320,000 円	公益財団法人 鳥取県国際交流財 団	
出資金	10,000,000 円	0 円	0 円	10,000,000 円	一般財団法人 因幡街道ふるさと 振興財団	
合計	510,320,000 円	0 円	0 円	510,320,000 円		

(2) 金券類の受払状況

ア 金券の受払状況

有 ・ 無

イ タクシーチケットの受払状況

(令和2年3月31日現在)

前年度未使用枚数	本 年 度 中		本年度未 未使用枚数	備 考
	購入枚数	使用枚数及び金額		
枚 18	枚	枚 6 24,430円	枚 12 県外分 本年度未使用枚数12枚については、有 効期限到来 (R2.5月末まで)	
39		枚 3 7,320円	枚 36 県内分	

(3) 基金 該当なし

(4) 債権

(令和2年3月31日現在)

債権の名称	前年度末		本年度中				本年度末		備 考
	金 額	件数	増		減		金 額	件数	
			金 額	件数	金 額	件数			
入居敷金	854,000	9	224,000	3	0	0	1,078,000	12	
合 計	854,000	9	224,000	3	0	0	1,078,000	12	

- 13 財産の貸付け及び使用許可調べ
- (1) 土地及び建物
- ア 土地 該当なし
- イ 建物 該当なし
- (2) 物品 (1品の取得価格が100万円以上のもの及び寄附受納時の評価額が100万円以上のもの) 該当なし
- 14 借受不動産明細調べ 該当なし
- 15 職員駐車場の管理状況調べ 該当なし
- 16 寄附物件の受納状況調べ 該当なし
- 17 備品の処分状況調べ 該当なし
- 18 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ
- (1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ
- 有 ・ 無
- (2) 物品の照合
- 有 ・ 無
- 19 貸付金等状況調べ 該当なし
- 意見、要望等
- (1) 業務に対する意見・要望等
特になし
- (2) 監査委員事務局に対する要望等
特になし